YAMALUBE®

ガラスシーティシグセット製品説明

ガラスコーティング3つの特徴

光尺僅

柔軟性のある被膜と、配合成分であるシリコーンパウダーの性質により、透明感のある輝きが得られます。

耐スリキズ性に優れているので、くすみが発生しにくく光沢が長期間持続します。

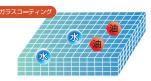


防汚性

被膜は網目でできています。ガラスコーティングは この網目の密度が緻密なため、水や油性分の浸透を 防ぎ、汚れ付着を予防します。また、汚れても落と しやすく、日頃のお手入れをラクにします。



網目構造の隙間から水や油性分が浸透し、被 膜内部に残存もしくは網目を断裂し性能低下 に繋がります。

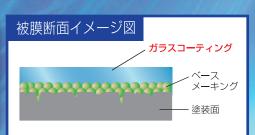


網目が細かいガラスコーティングなら水や油 性分の浸透を防ぎ、汚れ付着を予防します。

作業性

シリコーンパウダーにより、ムラに なりにくく初心者にも簡単に美しく 仕上がります。メンテナンスも洗車 感覚のイージーさです。





THE PHOTO IN

このセットだけで下地処理からコーティングまで可能!



- ●コート剤(20ml) 注)塗布作業まで開封しないこと。開封後の保存は不可。
- ●ベースメーキング (40ml)
- ●マイクロファイバークロス(青)
- ●コート剤塗布用ウエス(白)
- ●黄色スポンジ
- ●製品説明書 · 取扱説明書

※ご使用の前に本紙裏面の取扱説明書を必ずお読みください。

ガラスコーティングセット専用ケース・ベース メーキングキャップ・コート剤キャップ: PP ベースメーキングボトル: LDPE ベースメーキング中栓・コート剤中栓: PE 表示者:株式会社ワイズギア

所在地:静岡県浜松市南区新橋町 1103

電話番号: 0570-050814

製品名	ベースメーキング
用 途	塗装面の保護・艶だし剤【業務用】
種類·形式	液体
内容量	40ml
成 分	石油系溶剤 研磨剤 アクリル系樹脂 他
危險有害性情報	

可燃性液体●軽度の皮膚刺激●目刺激●長期にわたる、または反復暴露により

●間に入った場合は、直方に多量の水で洗浄し、医師の診断を受けてください。●皮膚に付着した場合は、付着した部分を書きれて耐を大で洗り、●皮膚に付着した場合は、付着した部分を参与するで表すれては会に大きない。●表現もしくはミストの風の後、実体列れて地合には、新作が空気の区域へ移動してください。「象みみんだ場合は、口をすすさ、直方に医師の診断を受けてください。
● すべての説明書きを読み、理解してから使用してください。◆人体に書かるので解対に吸入したり使用してださい。◆人なの説明書きを読み、理解してから使用してください。◆人を出すがあるので解対に吸入したり使用してください。◆人を出きたもなもでは知る人となった。

・ ● 本にまたまる質に付款ないでください。
・ ● 皮膚、素にはな質に付款ないでください。
・ ● 皮膚、またはな質に付款ないでください。

●すべての説明書を結め、理解してから使用してたら い。●人体に苦かなるので絶対に取りしたか知りに しないでください。●取扱い後はよく手を洗ってくださ い。●取 皮膚、または衣類に付けないでください。を受 外には使用しないでください。●炎天下や連接面が無い がは使用しないでください。●炎天下や連接面が無い で、風の強い時や砂埃の多い所では使用しないでくださ い。●部器を受損をもないでもでは使用しないでください。 ・●高器を受損を表の形で出すことがありますの

で注意してください。

◆子供の手の届かない所に施錠して保管してください。
◆宮医を密閉して涼しく換気の良いとごろに保管してください。
◆宮医を密閉して涼しく換気の良いとごろに保管してください。
● 京 方 法
の際は、中身を使い切ってから捨ててください。
● 外容物
や容器を廃棄する場合は都適所県知事の許可を受けた専
門の廃棄物処理業者に実務委託してください。

 製品名
 3 コート剤
 成分 [シロキサン系制脂ウエス エタノール 他種類・内容量] 液体 20ml 用途 [動車塗装用 [業務用]

 危険有害性情報
 た 険

●引火性の高い液体及び蒸気●軽度の皮膚刺激●強い眼刺激●造伝子性疾 振の恐れ●生態能又は能別への悪影響のおそれ●発力ンのおそれの疑い● 中枢神経系、腎臓、全身増で回停害●呼吸器へ列激のおそれ●無気やめ まいのおそれ●便期にかたるまたは反腹ばく瘤による中枢神経系、肝臓の 廃害●長期にかるまたは反復ばく態による曲を。 腹臓の障害のおそれ

●限入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医肺の 総を受けてください。●皮膚に削した場合は、 した部分を直ちに石鹸と水で洗い流し、異常がある場合、 は筋卵の診断を受けてください。●疾丸しくはる。 の吸入後、異常が現れた場合には、新鮮な空気の区域へ 数してください。●飲み込んだ場合は、口をすす き、歯ちに医師の診断を受けてください。

保管及び 廃棄方法 ・ 選索の関係は、必要保管し、温度40℃以上になる所、 ・ 選索の多い所を避けて保管してください。 ・ 選索の際は、中身の液を使い切ってから、専門の廃棄物・ ・ 選案者に業務委託してください。

危険物第四類 第二石油類 危険等級 容器イエローカード指針番号 128

ガラスコーティングセット取扱説明書

※ご使用前に必ず本紙をお読みください。

作業上の注意

作業環境







高温禁止 作業不良の原因になります。

屋内作業時、換気注意

換気のよい場所で作業してください。

■コート剤乾燥時間

乾燥目安時間 夏場 (25℃)···約5分 冬場 (10℃)…約 10分

※上記時間を過ぎ、そのまま放置すると拭き取りが困難になります。

■コート剤使用可能箇所:塗装部分

次の場所には使用できません。

無塗装の樹脂パーツ・ガラス面、スクリーン及びシールド部分、金属部分、ゴム・ステッカー類、フロント フォークのインナーチューブ、メッキパーツ、シート、ステップ、ブレーキディスク、高温になる場所(エ

※施工面が特殊加工されていたり、材質が不明な場合は必ず目立たないところでテストし、変質・変 色がないことを確かめてから使用してください。

■コート剤塗布作業まで開封しないでください。開封後のコート剤は保存できません。

用意するもの ハサミ スポンジを 切る時に使 ガラスコーティングセット います







無塗装の樹脂パーツ

金属パーツ

下準備 黄色スポンジ・コーティング剤塗布用の白いウエスを、使いやすい大きさにはさみで切ってください。

①洗車 ボディをキレイに洗浄し、水気を切って十分に乾燥させてください。

②下地処理

ベースメーキングを黄色スポンジの黄色部分に取り出して(1回の取り出し量の目安:パチンコ玉 1個分程度)対象部分を液剤が透明になるまで縦横に丁寧に磨いてください。汚れが 1 度で除去 できない場合は、再度スポンジに液剤を取り出し繰り返し磨いてください。その後、青いマイクロ ファイバークロスで曇りがなくなるまで拭き取ってください。

使用済みのスポンジは、再利用できませんので廃棄してください。

炎天下での作業は避けてください。ベースメーキングが固まって拭き取れなくなった場合はもう 1 度スポンジに液剤を付けて磨いてください。この時に液剤が乾かないうちに拭き取りを行ってください。

使用量の日安… 45cm 四方: 2ml



下地処理



拭き取り

③コート剤取り出<u>し</u>

コート剤塗布用ウエス(白色)を四つ折りにしてください。コート剤の瓶 を十分に良く振って、フタを開けてください。

ウエスでフタをし、軽く振って瓶の中のコート剤をウエスに染み込ませてく ださい。3回程繰り返すと適度な量(約2ml)が取り出せます。

使用済みのウエスは再利用できませんので廃棄してください。

使用量の目安… 45cm 四方: 2ml



コート剤攪拌



コート剤取り出し

④コート剤塗布

塗布対象面(塗装面)にコート剤を塗り広げます。この時に塗り込むようにするの がポイントです。

20~30 cm 四方で作業すると効率的です。コート剤が伸びなくなったら再度ウエ 📙 スにコート剤を取り出してください。

余ったコート剤は保存できません。ティッシュなどに含ませ廃棄してください。

乾燥目安時間 夏場 (25℃)···約5分 冬場 (10℃)…約 10分

乾燥目安時間を過ぎ、そのまま放置すると拭き取り が困難になりますので注意してください。 万一拭き取れなくなってしまったら、もう一度②の 下地処理からやり直してください。



5仕上げ

コート剤が乾燥した後、青いマイクロファイバークロスで丁寧に拭き取ってください。 使い終わったマイクロファイバークロスは中性洗剤でよく洗い、乾燥させてください。

■ 万が一、ムラなどが発生した場合は青いマイクロファイバークロスを水で濡らして固く絞り、対象面を優しく拭いてください。



ベースメーキングはこんな使い方もできます



くすんだスクリーンの くもりを除去します



コーティング施工車両のメ ンテナンスに。 しつこい汚れを落とします。

ベースメーキングの保管方法

液剤が余った場合には、キャップを閉め、専用ケースに入れ て直射日光を避けて保管してくだい。 再使用する前に、必ず良く振ってください。

コート剤は開封後保存できませんので、関連法規並びに地方自 治体の基準に従って廃棄してください。

※仕上げ後、2時間程度水に濡らさないでください。

※廃棄の際は関連法規並びに地方自治体の基準に従ってください。空容器は内容物を完全に除去してから処分してください。